医療学部

理学療法学科

Department of Physical Therapy

【取得可能な資格】
理学療法士国家試験受験資格

定員 40名

理学療法学科が養成する人材

理学療法士は、病気やけがにより身体運動や生活に問題を持つ人々に対して、運動療法や物理的刺激(水、熱、光、電気、機械的な力など)による物理療法、義肢・装具を用いた装具療法、生活の改善などを行い、日常生活やスポーツ競技への復帰を支援します。
チーム医療が重要なリハビリテーションの一員として、人間性豊かで幅広くバランスの取れた人格生成を図り、臨床でリーダーとなり得る人材を養成します。
また、充実した語学教育と海外保健福祉教育、必修の海外研修を通じて、国際的に活躍できる人材を養成します。日々進化する理学療法の技術・知識に対応すべく、基礎研究、応用研究を充実させ、将来の理学療法の礎を担う人材を育成します。

Admission Policy アドミッション・ポリシー

①理学療法の分野で活躍したいという目的意識が明確であり、何事にも自主的に取り組むことができる者
②基本的倫理観を持つ者
③各専門知識を学び応用するために必要な基礎学力を有している者
④海外の保健・医療・福祉、特に理学療法に興味を持つ者

Message

本学科は、1学年の定員40名の少人数教育を特長とし、アジアの玄関口の立地を生かし、我が国のみならず国際的な医療・保健・福祉の動向を的確に捉え、幅広い社会のニーズに高水準で応え得る知識と技術を有する理学療法士を育成することを目的としています。その目的を達成するために、経験豊富な教授陣と特長のあるカリキュラム、最新の教育機器を揃え、他に類をみない教育体制を準備しました。隣接する福岡山王病院をはじめとする豊富なグループ関連医療福祉施設および連携を密にする外部施設で臨床実習を実施し、臨床で即戦力となる理学療法士を養成する充実した実習環境が整っています。これらの環境の中で、それぞれの目標を持って、めざす理学療法士像を追求できると考えます。4年間の大学生活の中で、幅広い知識、専門的な技術とともに皆に愛される人間性と社会性を身につけてください。臨床で活躍できる理学療法士、グローバルな視点を持ち海外で活躍できる理学療法士、研究教育分野で今後の理学療法の進歩を支える理学療法士、あなたがめざす理学療法士像を目標を同じくしてバックアップします。

理学療法学科長
森田 正治 教授

国立療養所福岡東病院(現 福岡東医療センター)附属リハビリテーション学院理学療法学科卒業、長崎大学大学院医学研究科社会医学系専攻修了、博士(医学)、国際医療福祉大学教授を経て現職。日本理学療法士会代議員、福岡県理学療法士会理事、福岡県理学療法士会監事、理学療法科学学会評議員、福岡県障がい者施策審議会委員、日本高等教育評価機構大学評価員。

理学療法学科の特色

専門性、総合性、柔軟性、社会性、国際性を備え、対象者に寄り添う心を持ち、
対象者および関連職種と十分なコミュニケーションがとれる理学療法士を養成します。

POINT.01
実践的な研究指導、ラボラトリー形式

各教員の研究分野を中心にラボラトリー制度を設定しています。学生は興味あるラボラトリーに所属し、研究テーマの立案から研究の実践までを教員とともに学ぶことができます。各ラボラトリーは学生の研究への興味を育て、卒業研究としてまとめるまでを支援・指導します。また、卒業後の大学院への進学もサポートします。

POINT.02
最新機器を備えた充実した学修環境

最新の評価機器や治療機器を導入しています。理学療法の基礎を客観的に理解し、臨床応用にいたる知識・技術を最適な環境で学修することができます。また、これら最新機器を用いて斬新な発想に基づく研究活動をサポートします。

POINT.03
実践的な臨床実習

学内での臨床推論演習と学外での臨床実習科目を統合した科目運用ならびに関連病院・施設、協力施設との綿密な連携体制に基づく特色のある実習科目(クリニカルクラークシップや、1:2モデル[臨床教育者1:学生2]の臨床実習実践)があります。

[理学療法の対象となる主な疾患・障害]

心臓疾患	狭心症、心筋梗塞、心不全、心筋症、不整脈など
運動器疾患	脊柱や四肢の関節・靭帯・腱などの運動機能に関する障害
神経系疾患	脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などを中心とする脳血管の障害、脊髄損傷や神経変性疾患
呼吸器疾患	肺気腫などの慢性呼吸疾患や肺切除手術後で呼吸機能が低下した障害
代謝疾患	糖尿病や高脂血症、肥満症などの生活習慣病による障害
形成外科疾患	熱傷や軟部組織疾患の手術後などに起こる疼痛や障害
小児疾患	脳性麻痺や知的障害、自閉症などの発達障害、後天性の脳損傷による障害
スポーツ障害	スポーツによる外傷や障害コンディショニングやパフォーマンス指導による障害予防

[活躍のフィールド]

医療機関
●総合病院 ●大学病院 ●一般病院
●リハビリテーション専門病院
●訪問看護ステーション ほか

児童福祉施設
●肢体不自由児医療福祉施設
●特別支援学校 ほか

スポーツ関連施設
●スポーツジム ●企業スポーツクラブ
●スポーツチーム ほか

公務員
●福祉行政機関 ●保健所
●福祉相談所 ほか

高齢者福祉機関
●老人保健施設 ●老人福祉施設
●特別養護老人ホーム
●デイケアセンター ほか

教育・研究機関
●大学 ●研究所 ほか

理学療法士として活躍中!

知識面でもメンタル面でも患者様を支えていきたい

私が勤める福岡山王病院は総合病院ということもあり、ケガや病気など患者様が抱える疾患もさまざまです。そのため患者様によって施すリハビリが異なり、その都度知識を蓄えていく必要があります。だからこそ、仕事が終わり家に帰った後も勉強をするなどの努力が必要です。現在、私は呼吸器系の資格取得をめざして勉強を進めています。
また、メンタル面から患者様をサポートすることも、理学療法士に必要なスキルだと思います。リハビリをされる患者様の多くはつらい思いを抱えていらっしゃいます。そのような時にそばに寄り添えるのが理学療法士です。リハビリをしながら不安な思いを聞いてあげるだけでも、患者様の気持ちを軽くすることができます。以前「話を聞いてくれてありがとう、あなたが担当で良かった。」と患者様に言っていただいたことがあります。このような患者様との触れ合いがあるからこそ、大変な仕事もやりがいを持って取り組むことができます。

PROFILE
中学生の頃、足を骨折した時に理学療法士が親身になって接してくれたことがきっかけで、自身も理学療法士をめざすようになる。2021年に国際医療福祉大学を卒業し、理学療法士として福岡山王病院に入職。高齢者から小児まで、幅広い患者さんのリハビリテーションにあたっている。

大林 史果 さん
福岡山王病院 理学療法士

基礎教育、ラボラトリー制度で高度な知識を身につける

理学療法士の職域拡大と医療の高度化に伴い、理学療法士に求められる医療知識はより高度で膨大なものになってきました。あらゆるニーズに対応するためにも充実した基礎教育が重要であり、確固とした基盤の上に高度な専門知識を身につけていく必要があります。1年次、2年次の基礎教育のほか、ラボラトリー制度の設定により基礎力の充実を図ります。その上に高度な専門知識を重ね、あらゆるニーズに対応できるカリキュラムを設定しています。

特色ある授業（演習・実習）

PTスキルⅠ～Ⅳ

基本的にアドバイザーグループ単位で1年生から4年生までが合同で学ぶ授業です。理学療法士として必要な知識や技術を教員からの一方的な指導だけでなく、先輩と後輩の間でお互い切磋琢磨しながら学修します。学年は異なりますが、同じ道を歩む先輩後輩の関係で人間性、社会性を育み、コミュニケーションの重要性を学びます。

動作分析学

動作分析は患者さん（対象者）を理解するために、理学療法士にとって重要な評価項目です。「動作分析学」では、最新の動作分析機器を備え、高い専門性を持った教員による授業を展開し、動作を捉え分析する能力を修得します。理学療法士は、動作分析のプロフェッショナルでなければなりません。理学療法の基礎となる重要な授業を最良の環境で学びます。

ラボラトリー制度の導入

経験豊富な教員を中心としたラボラトリー（研究室）制度を導入し、卒業研究につながる基礎学習、将来の大学院進学や臨床での研究活動への動機付けとして有益な学修を展開します。学生は個々の興味に合致したラボラトリーに所属することができます。研究テーマの設定から研究方法の考案、実験計測、データ処理、考察までの一連の流れをラボラトリーチームで共同研究し、その成果を公表することを目標とします。各ラボラトリーには最新の研究機器を備え、研究をバックアップします。

ラボラトリー

◎モーションセンシング
◎ニューロメカニクス
◎地域リハビリテーション（CBR）
◎機能解剖
◎クリニカルバイオメカニクス
◎呼吸循環機能

VOICE

学外の病院や施設での臨地実習を通して4年間の知識を実践スキルに変えていく

理学療法学科 4年
杉野 優斗さん
（福岡県立嘉穂高等学校出身）

福岡の都心にあり、教育や研究のための設備や環境が整っているところに惹かれて、私は福岡国際医療福祉大学に入学しました。日々、専門的な知識や技術を持つ先生方の指導を受けながら、理学療法を学んでいます。
福岡国際医療福祉大学での学びの特徴は、何といっても実習だと思います。特に3･4年次は長期間にわたる臨地実習が実施され、隣接する福岡山王病院をはじめとした学外の医療福祉施設に出向き、実際に患者さんのリハビリに携わることができます。しかし、臨地実習は普段の授業とは全く異なります。患者さんを目の前にするという緊張感があるなかで、自分の持てる知識をどれだけ応用できるかが常に試される、非常にシビアな授業です。3年次の臨地実習では自分の知識がまだまだ足りないことがわかったので、現在は基礎医学（解剖学･運動学･生理学）の学び直しに力を入れています。この4年間に授業などで蓄積してきた知識を実践的なスキルに変えていけるよう、知識の復習、そして臨地実習に取り組んでいきたいと思います。そして将来は先生方や実習先の指導担当の方のように、患者さんに信頼される理学療法士になりたいです。

4年間の学修の流れ

1年次

理学療法の基礎となる専門基礎科目と豊かな人間性を養うための一般教養を中心に学習します。

専門基礎科目

【必修】
●解剖学Ⅰ ●解剖学Ⅱ ●解剖学実習 ●生理学Ⅰ ●生理学Ⅱ ●生理学実習 ●病理学 ●リハビリテーション医学 ●人間発達学 ●基礎薬理学 ●運動学Ⅰ ●運動学Ⅱ ●リハビリテーション概論
【選択】
□公衆衛生学 □栄養学 □カウンセリング論 □ケアマネジメント論 □保健医療福祉制度論

専門科目

【必修】
●理学療法概論 ●PTスキルⅠ演習(基礎知識の確認) ●理学療法評価学 ●バイオメカニクス ●基礎実習

総合教育科目

【必修】
●心理学 ●社会保障制度論 ●データサイエンス ●医療とICT ●生命倫理 ●大学入門講座 ●医学英語Ⅰ ●医学英語Ⅱ
【選択】
□生物学 □生化学 □韓国語 □中国語

2年次

行き届いたアドバイザー制度のもとで理学療法の基礎を修得します。

専門基礎科目

【必修】
●臨床医学概論 ●内科学Ⅰ ●内科学Ⅱ ●神経学Ⅰ ●神経学Ⅱ ●整形外科学Ⅰ ●整形外科学Ⅱ ●精神医学Ⅰ ●小児科学 ●老年学 ●臨床心理学概論 ●救急医学 ●運動生理学 ●運動学実習 ●関連職種連携論
【選択】
□精神医学Ⅱ

専門科目

【必修】
●物理療法Ⅰ ●物理療法Ⅱ ●PTスキルⅡ演習(検査･測定) ●理学療法診断学Ⅰ(基礎) ●理学療法診断学Ⅱ(神経診断学) ●理学療法診断学Ⅲ(疾患別評価) ●動作分析学 ●運動療法学総論 ●装具学 ●生活環境学 ●小児理学療法学
【選択】
□癌のリハビリテーション □スポーツ障害学

総合教育科目

【必修】
●海外保健福祉事情Ⅰ(講義) ●海外保健福祉事情Ⅱ(実習)

3年次

理学療法をより実践的に修得。後半には施設での評価実習を経験します。

専門基礎科目

【必修】
●医用画像診断学 ●関連職種連携ワーク
【選択】
□リスクマネジメント論

専門科目

【必修】
●病態運動学 ●PTスキルⅢ演習(障害理解) ●PTスキルⅣ演習(専門知識の確認) ●理学療法治療学総論 ●運動系理学療法学Ⅰ ●運動系理学療法学Ⅱ ●神経系理学療法学Ⅰ ●神経系理学療法学Ⅱ ●代謝系理学療法学 ●循環理学療法学 ●呼吸理学療法学 ●義肢学 ●生活技術学 ●地域理学療法学 ●リハビリテーション管理論 ●評価実習 ●地域理学療法学実習 ●卒業研究Ⅰ(研究計画の立案)
【選択】
□高次脳機能障害学 □理学療法技術学 □先端リハビリテーション科学 □ウィメンズヘルス理学療法学

総合教育科目

1～4年次【選択】
□哲学 □倫理学 □文学 □教育学 □教育方法論 □コミュニケーション概論 □雑談と傾聴ー話す力と訊く力ー □日本近現代史 □宗教学 □アジア比較文化論 □法学 □経済学 □社会学 □国際医療福祉論 □ボランティア論 □ボランティア実践 □物理学 □人間工学 □医学･医療史 □健康科学理論 □健康スポーツ実践 □メディカルマナー入門 □医療福祉教養講義 □英語（基礎） □英語（応用） □英会話

4年次

学修の集大成。身につけた知識･技術で臨床実習に臨みます。卒業研究をまとめ、国家試験対策学修に取り組みます。

専門科目

【必修】
●理学療法特論Ⅰ(基礎) ●理学療法特論Ⅱ(応用)
●臨床実習Ⅰ ●臨床実習Ⅱ ●卒業研究Ⅱ(研究の実践)

総合教育科目

【選択】
□死生学ー死を通して生を考えるー

●=必修科目 □=選択科目